



出 初 式

野迫川村

子ども未来議会開催



平成30年12月18日（火）、野迫川中学校の生徒による「野迫川村子ども未来議会」が開催されました。

中学3年生4名が議員となり、村長に対して、生徒が思う村政に対する疑問や要望を一般質問として投げかけました。

実際の議会と同様の形式で行われ、議場が緊張感で包まれる中、議案として『笑顔を決やさず、残りの中学校生活をエンジョイし、野迫川村で悔いのない生活を送る！』の願い文案について議決されました。一般質問では生徒の視点による率直な質問内容に対し、真剣な答弁が行われました。

今回で4回目となる「野迫川村子ども未来議会」で、生徒達の村に対する思いを聞くことができ、大変意義のある議会となりました。

「一般質問の内容」（抜粋）



【林^{はら}陽^{はる}議員】

質問 空き家について

野迫川村は人口が減少し、空き家が増えているように感じます。通学途中にある空き家は、冬が近づくとつれ暗くなっているから怖く思ったりします。野迫川村には、どれくらいの空き家があるのでしょうか。崩れそうな空き家は、災害時などで倒壊の心配もあり、少しずつこれらの家の対策を考えてみてはいかがでしょうか。

また、野川道には人が住めそうな素敵な家があり、そういった家は、村が改修して民泊施設などに利用するのはいかがでしょうか。

【答弁】（村長）

平成30年11月30日現在の野迫川村の人口は396人、230世帯となっており、平成30年1月31日の419人、234世帯から、23人、4世帯の減少となっています。

人口減少に伴い空き家が発生していることは承知しており、本村では平成28年度に空き家調査を実施しました。その結果、住宅に限ると397棟の住宅があり、内142棟が空き家で空き家率が35.8%、このうち崩

落の危険性のある建物は15棟という結果でした。

このため、今年度老朽危険空き家解体にかかる補助金制度を開始しました。この制度の概要は、周辺環境を悪化させている空き家が対象で、その危険性が判断基準を上回っていることが条件となりますが、解体工事費用の3分の1、50万円を上限として、本村から補助金を支給するというものです。あくまでも個人の所有物ですので、現状、村として出来るだけの施策を行っているところです。

また、空き家の民泊施設などへの活用についてですが、個人所有家屋については、今年度から空き家改修補助金制度を開始しました。この制度の概要は、移住希望者が空き家に住んでいただくことを目的として、建物改修される場合にその経費の2分の1、50万円を上限として本村から補助金を支給するというものです。これにより、空き家の所有者には賃貸収入が入り、移住者には住居が確保されますので、移住のマッチングを行うきっかけになるものと考えております。個人の所有家屋については、このような制度を活用いただきたいと考えておりますが、村としては、公有建物の空き家である、旧小学校を利活用する施策をとっており、北今西小学校、北股小学校、そして野川小学校を都市部の方と村民が交流できる施設へと改修中、あるいは改修の計画を立てております。このように、村の力だけではなく、民間の力もお借りしながら、空き家対策、過疎対策に取り組んでいきたいと考えております。



さかもと 翔太
【阪本翔太 議員】

質問 小代下から続く道路の拡張について

僕が引越してから1年10カ月が過ぎました。野迫川村に初めて来たときは道も狭く、こんな山奥に人が住んでいるのかと思いました。が、いざ住んでみると都会とは違い時間のがんびり流れ、学校ではみんな優しく人数で今では本当にいい所だと思っております。そこで、野迫川村に来る観光客や、住民のためにも、今井から小代下に続く道路はくねくねしていて細く、少し危険なので、もう少し道路を拡張することはできませんか。

【答弁】(村長)

小代下から今井までの道路は県道高野天川線という道路です。国道168号線から村への入口である大事な道路であり、住民の方々の生活道、観光や村へ訪れてくれる方々のアクセス道でもあります。議員の言われるとおり、道はくねくね、ずっと坂道が続きます。

この道は、天川村から高野山へつながる道路であり、五條市、天川村、高野町、野迫川村の1市1町2村で、主要地方道高野天川線促進協議会を設立して、国や県に道路の拡張、道を広げていただくことを要望しています。

近い将来、30年以内に南海トラフ地震が

発生する可能性が高いと言われている事から和歌山、三重両県の海岸沿いが被害に遭ったとき、168号線、169号線が救難物資の運搬道になります。その時、東西を結ぶこの道路が大きく役立ちます。大型車両が通行できるよう、住民の方々が安全に避難できるように、改良を強く要望しています。

しかし、県道であり奈良県の予算の配分が少ない事、用地の確保が難しい事が工事の進まない大きな原因となっています。また、規定により道を広げるのは2車線ではなく、通行量等を考え、1.5車線と決められております。

今現在、上垣内、上間でカーブを切り取る工事が進められております。大塔町の中原では、用地測量が終わり、用地買収後に工事発注される予定です。

これからも、この道路の重要性を訴え続け、1日も早く、もっと安心して通行できる道になるよう努力いたします。村内には、3本の県道があります。県道、村道ともに、まだまだ狭い所が多くあるので、村内の道路が安心で、安全に通行できる道路となるよう推進してまいります。





【更谷乙望美 議員】
さらたにともみ

質問 中学校校舎について

中学校校舎は3年前に出来上がり、晴れた日には、保育園の子たちの楽しそうな声が聞こえてきてもいい校舎だなと思いつつながら勉強しています。そんな素敵な校舎ですが、少し気になる事が2つあります。1つ目は、中学校校舎に入る直前の扉がとても重たいことです。校舎に入ってくる人がたくさん荷物を持っていると開けることができません。2つ目は、冬になると渡り廊下の野外デッキや階段部分が凍ってしまい滑りそうで危ないことです。なんとか改善していただけないでしょうか。

【答弁】(村長)

議員がおっしゃっていた、保育所の子ども達の声が聞こえると言つのは私が一番望んでいた事でもあるので、大変うれしく思います。校舎へ入る扉が重たいとの意見でございます。この扉が重たい理由は2つあります。扉が大きく2枚のガラスを重ね合わせたペアガラスになっていること、扉の枠が木製であることです。

この扉は、夏、風が通りやすくするために大きくし、これからの寒い冬の季節には校舎内の空気が冷えるのを和らげるためにガラスを重ね合わせています。また、扉の枠が木

製になっているのも校舎に奈良県産の木材を利用し、中学生の皆さんに木材が本来備えている木の温もりを感じ、奈良県の地場産業の良さを感じてもらえるように取り入れています。

と言いましても、扉を開けたり閉めたりするときに重たくては、皆さんが気持ちよく学校生活を送ることができませんので、改善していきたいと思っています。

また、渡り廊下から新しい校舎へ移るデッキの部分で冬に凍って危ないということですが、この部分は壁を付けることで問題が解決できるのですが、今の法律、建築基準法では、後から保育所、中学校の校舎を建てたので、校舎同士をつなげてはいけないという規定がありますので、今現在小学校の校舎と中学校の校舎をつなげることは出来ておりません。デッキの部分の凍結については、安全に通行できるように改善したいと思っています。また、野迫川村に生まれたのだから、皆で凍らないように工夫したり、氷を溶かしたりと野迫川村の冬を楽しんでもらうって、町の人が体験できない良い思い出になるのではないかと思います。これから、もっと寒くなります。道路の凍結にも気をつけてケガの無いように、していただきたいと思います。



【山田透吾 議長】
やまだとうご

閉会の挨拶

僕は、来年3月に野迫川中学校を卒業し、野迫川村を旅立っていきます。実はとても楽しみにしています。野迫川村で体験できないことをできると思うと、とても楽しみだからです。

例えば、街にはコンビニなどいろんなお店があったり、友達が増えたり、高校では部活を熱心に行いたいと思っています。村長さんは高校進学で、野迫川村を離れるとき、どんな気持ちでしたか。僕は街での生活を本当に楽しみにしているのですが、そんな中、不安もあります。知らない人たちと、ちゃんと接する事ができるか友達とつまづくのかなど。そんな時、野迫川村で生活していたことを思い出し、踏ん張って頑張っていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

【村長】

閉会の挨拶

議員の皆さん、お疲れさまでした。各議員の質問も、現在、そしてこれからの野迫川村、また自分たちの学校生活をよく見て考えた内容だと思います。

また、議長のあいさつは、高校生活への期待と不安にあふれていましたが、大丈夫。楽しい高校生活が待っています。友達もすぐにできるし、クラブ活動も仲間と一生の絆ができると思います。

野迫川村の子どもたちは素直だからどこへ行っても大丈夫。体調に気をつけて頑張ってください。

平成31年 野迫川村消防団出初式 南吉野支部連合出初式

新春恒例の平成31年野迫川村消防団出初式を1月18日（金）、野迫川村山村振興センターにおいて、消防団員53名が出動する中、多数の来賓のご臨席のもと挙行しました。

また、1月9日（水）には奈良県消防協会南吉野支部連合出初式が十津川村体育文化センターで開催されました。

なお、優良消防団員として表彰を受けた方は次の通りです。（敬称略、順不同）

○南吉野支部連合出初式

知事表彰

第3分団 分団長

増本 忠司

協会長表彰

第2分団 副分団長

小倉 金治

支部長表彰

第3分団 団員

中本 裕之

第3分団 団員

中本 良太

○村出初式

村長特別表彰

第2分団 団員

西本 利広

村長表彰

第4分団 副分団長

中迫 喜昭

団長特別表彰

第3分団 団員

中本 良太

第4分団 団員

地造 泰正

第2分団 団員

西田 邦夫

第1分団 班長

吉井 善嗣

第2分団 団員

菊谷 栄次

五條警察署長感謝状

第4分団

「大立山まつり2019 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」の開催

奈良の古代と今の両方を知り、楽しめるような県内各地のいいところが大集合する「大立山まつり2019 奈良ちとせ祝（ほ）ぐ寿（ほ）ぐまつり」が1月26日（土）～27日（日）の2日間、奈良市の“平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば”にて開催されました。

会場内では地域自慢のあったかもんグルメと特産品市が開催され、奈良県39市町村が揃い踏み。野迫川村からはかわらび荘が出店し、あったかもんグルメとして「猪と鹿肉の田舎煮込み」を提供しました。

両日とも小雪が舞う寒い中でしたが、温かい料理で訪れた人々をもてなしました。

このイベントにおいて、来場した多くの方々に野迫川村の食を広くPRすることができました。



今年度の「すこやか教室」も好評でした！

今年度は、『だれでもできる体操教室』、講座『糖尿病と、お口のケアと、食事』、『おいしく健康に！調理実習』を全8回で開催しました。参加した皆様からは「楽しい」「みんなと交流できてうれしい」「運動するようになった」との声も。介護予防としての内容を学んでもらうだけでなく、交流により地域のつながりも深まったと思います。

来年もぜひご参加ください！



車椅子の貸し出し（無料）のお知らせ

野迫川村役場にて“車椅子の一時的な貸し出し”を行います。

対 象：野迫川村民

用意台数：2台 ※1人1台まで

貸出理由：一時的な怪我による通院
イベントや買い物等の外出 など

費 用：無料

貸出方法：役場でお渡し＆返却

☆ご利用の方は役場にて申請書をご提出下さい。（要印鑑）

お問い合わせは
野迫川村役場 住民課 まで
☎0747-37-2101



村税等の口座振替(自動振込)について

平成31年度分から南都銀行の口座から自動振込ができるようになります。ご希望の方には「依頼書」を送付しますので役場住民課へご連絡ください。

また、南都銀行高野山支店には野迫川村専用の「依頼書」を備え付けておりますので、通帳・印鑑をお持ちの上お手続きお願いいたします。

自動振込できる税目等は下記のとおりです。

記

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| ①村 県 民 税 | 普通徴収 | 全期前納または各期別 |
| ②固 定 資 産 税 | 全期前納または各期別 | |
| ③軽 自 動 車 税 | 全期 | |
| ④国 民 健 康 保 険 税 | 各期別 | |
| ⑤介 護 保 険 料 | 普通徴収 | 各期別 |
| ⑥後期高齢者医療保険料 | 普通徴収 | 各期別 |

※お問い合わせは 住民課 税務係 まで
電 話 0747-37-2101



奈良県運転免許センター からのお知らせ

～高齢運転者の免許更新について～

75歳以上の人は、高齢者講習の前に、認知機能検査の受検が必要です。

4月から、吉野警察署さくら警察庁舎でも、毎週水曜日に認知機能検査の受検ができますので、詳しくは運転免許センターへお問い合わせください。

「認知機能検査のご案内」が届いたら、早めに予約してください。

問い合わせ

奈良県運転免許センター

電話 0744-29-0290

橿原神宮周辺における 交通規制のお知らせ

平成31年3月26日(火) 橿原神宮周辺において、一時的な交通規制を実施します。

当日は混雑が予想されますので、公共交通機関の利用や現場警察官の指示に従った通行・迂回等のご協力をお願いします。

問い合わせ

奈良県警察本部

電話 0742-23-0110

HP <http://www.police.pref.nara.jp/>



第5回ほっとは一と南和のつどい【きて・みて・ふれて】 ～障がいのある人もない人もともに暮らす地域へ～

私たちは障がいに対する正しい情報の普及を目的とし、障がいのあるなしに関わらず暮らしやすい地域づくりを目指しています。

イベントは今年度で5回目を迎えました。今回は講演会、障がい者雇用についての企業学習会、障がい疑似体験や障がい事業所活動体験、当事者によるバザー、大ホールでは舞台発表が行われます。是非、会場へお越しください。(講演会以外、入場無料)

日 時 平成31年3月9日(土) 10時30分～15時30分

場 所 大淀町文化会館とその周辺

お問い合わせ

ほっとは一と南和事務局

特定非営利活動法人吉野コスモス会 地域活動支援センターのどか

〒638-0821 奈良県吉野郡大淀町下湊1076-3

TEL/FAX 0747-53-2215 ◇担当：小南

野迫川村からも
バザーで
にゅうめんを
出店します！

日本年金機構職員を装った不審電話にご注意ください

日本年金機構は、電話でお客様の年金受給額や同居人の有無、預貯金口座番号などをお聞きすることはありません。また、ATMの操作をお願いすることはありません。

不審な点がある場合は、その場で回答せず、相手の言う番号では無く必ず年金事務所の下記代表番号にかけ直してください。

大和高田年金事務所 ☎0745-22-3531

紛らわしい名称を利用してくることがありますが、
にっぽんねんきん き こう
日本年金機構が正式名称です。



てんいち先生

野迫川村ホームページ
リニューアル

野迫川村のホームページデザインが一新しました！

ライブカメラも掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

※ URL は変更ありません。



のせ川歌壇

声あげて

駆けこむわれを待ちくれし
村営バスはゆるやかに発つ

西前 睦代

冬至なる

朝のどか雪驚きて
又もの冬も雪掻き仕事か

吉野 武文

若き頃

夫が土産の人形筆
墨含ませば思い出も新た

中田 敬子

畑つ物

山猿出て来て荒らしたるを
餌なき山かと想い哀れむ

小倉 徳太郎

いまひと時

暖かき布団にくるまりて
夢の續きをと願うこの朝

中西 章

ようやくに

天気変るか虎落笛
遠くに聞こゆ風つよきらし

西本 良子

うつすらと

淡雪を染めわび助は
初花かかげり冬を明るく

孤山



小・中学校招待給食

1月30日(水)、日頃お世話になっている角谷村長、中迫教育長に感謝の気持ちを伝えるため、野迫川小中学校で招待給食が行われました。

会食では、学校生活のことや村のことなど、色々な話が出来てとても楽しい時間になりました。会食の後半では、角谷村長から野迫川村に住む子どもたちへの思いを、中迫教育長からは色々なものをバランスよく食べてほしいというお話をしていただきました。もうすぐ受験を控える3年生は、合格祈願のお守りもいただきました。最後に、児童生徒全員でお二人にお礼を言って、感謝の気持ちを伝えました。

